

B-2. エビ資源量調査

本調査は漁業センサスの一環として美里村泡瀬沿岸に棲息するエビ類の棲息層及び資源量、体長組成、出現頻度等を調査実施したものである。

(1) 調査方法：地元の業者の協力を得てエビ取網(2匁)を考案作成し、割舟3隻を傭船して実施した。調査箇所(1匁)で準備されたエビ取網を夜間割舟2隻にとり付け10分毎に5回曳網してエビを採捕した。採捕したエビは直ちに標本個定し、体長測定した。(2) 調査期日：1967年2月4月、6月(3) 調査結果：泡瀬沿岸のエビの棲息域はほぼ全域にわたり棲息しているものとみられる。種類は4~5種類であるが、環境要因により個体数、個体の大きさが著しく異なってきた。すなわち、水深5m以深で底質が泥の所では(測定4)モエビの数が多く、個体も比較的大きいが、クルマエビ、フトミゾエビ等は殆んどみられない。水深50cm以浅(測点23)では個体が小さくエビ取網(20節)の細目から抜けて容易には採捕できなかった。また、出現頻度を月別にみた場合2月が少なく、4月、6月は水温の上昇にともなう多くなってきた。体長組成では各月とも4~4.5cmがピークを示し、5cmからは次第に減少している。このことは、体長が大きくなるにつれ深所に生活移動するためと考えられる。測定(1.4)は水深5m以上あり、モエビ、フトミゾエビが最も多く採捕された。

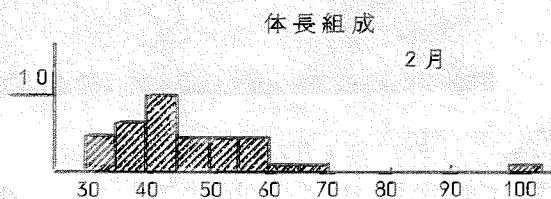
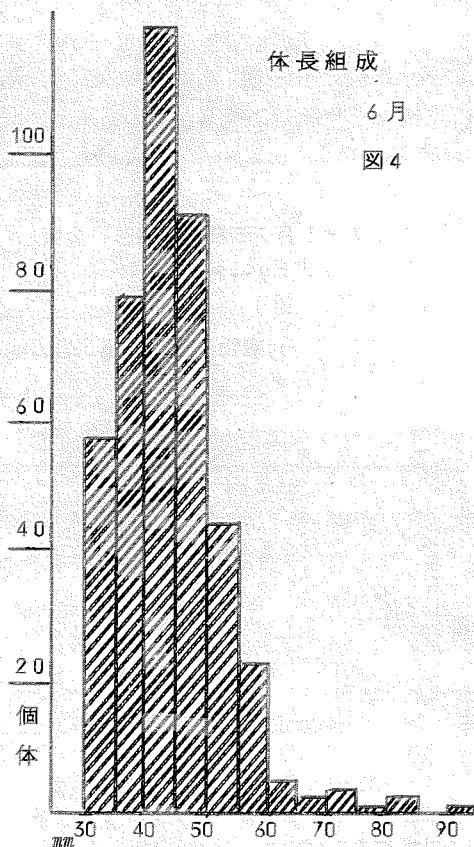
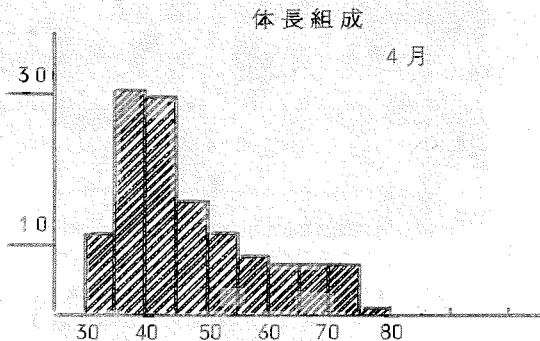


図3



以上は2月、4月、6月の3ヶ月における調査をまとめたもので、次年度も引き続き調査が残されており、その段階で詳細をとりまとめる。

体長組成

図5

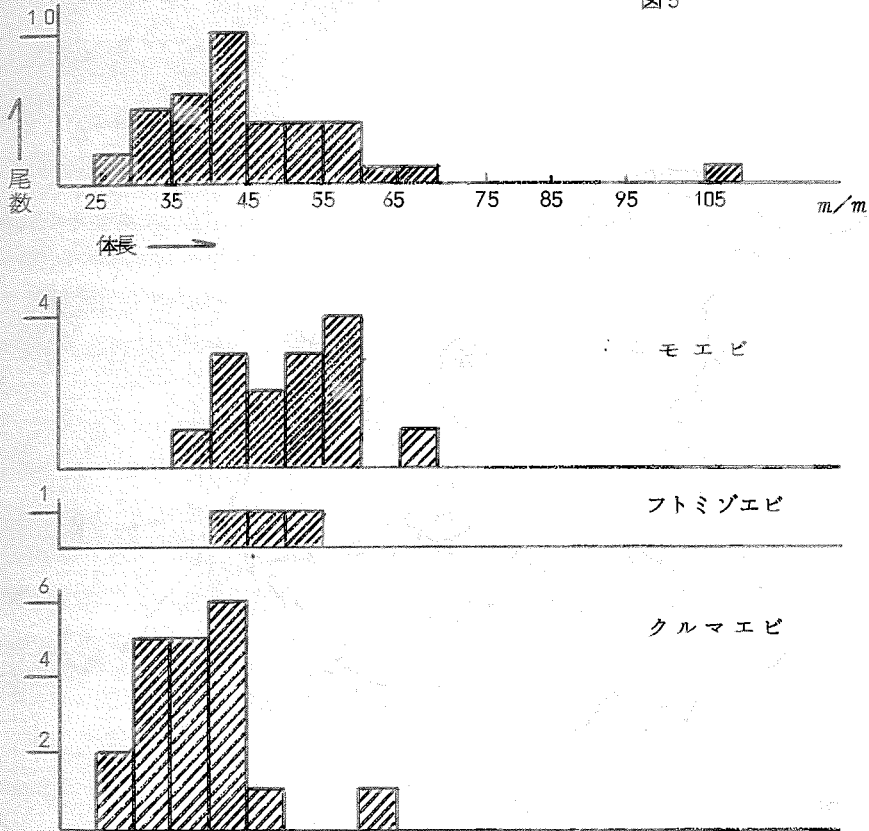


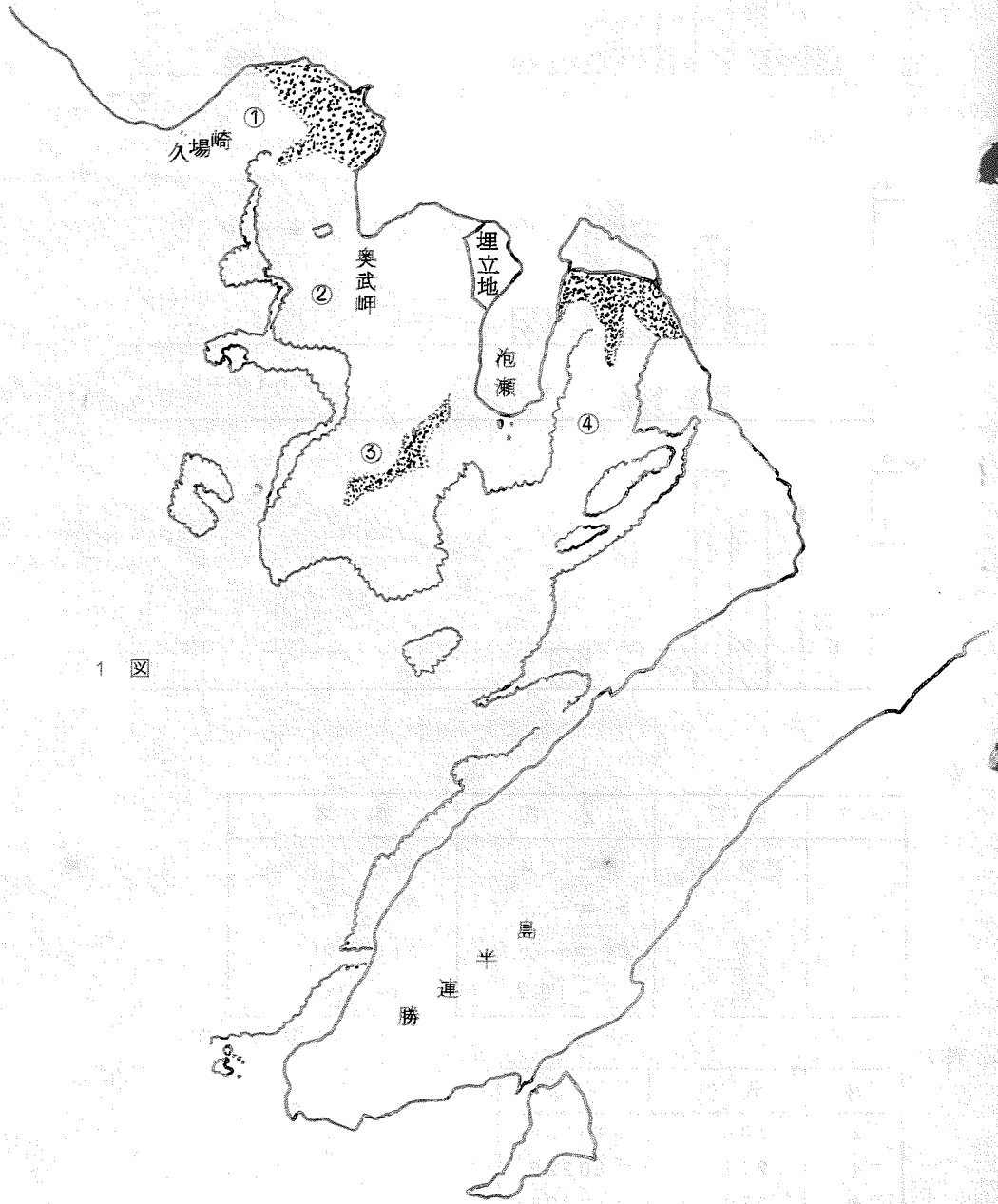
表1

S. T	底質	水深	備考
1	砂礫、砂	5~10 M	モエビ、フトミゾエビ
2	砂	50 cm~1.5 M	フトミゾ、アカエビ
3	砂	50 cm~1.5 M	フトミゾ、クルマ
4	泥	5~10 M	モエビ、クルマ

表2

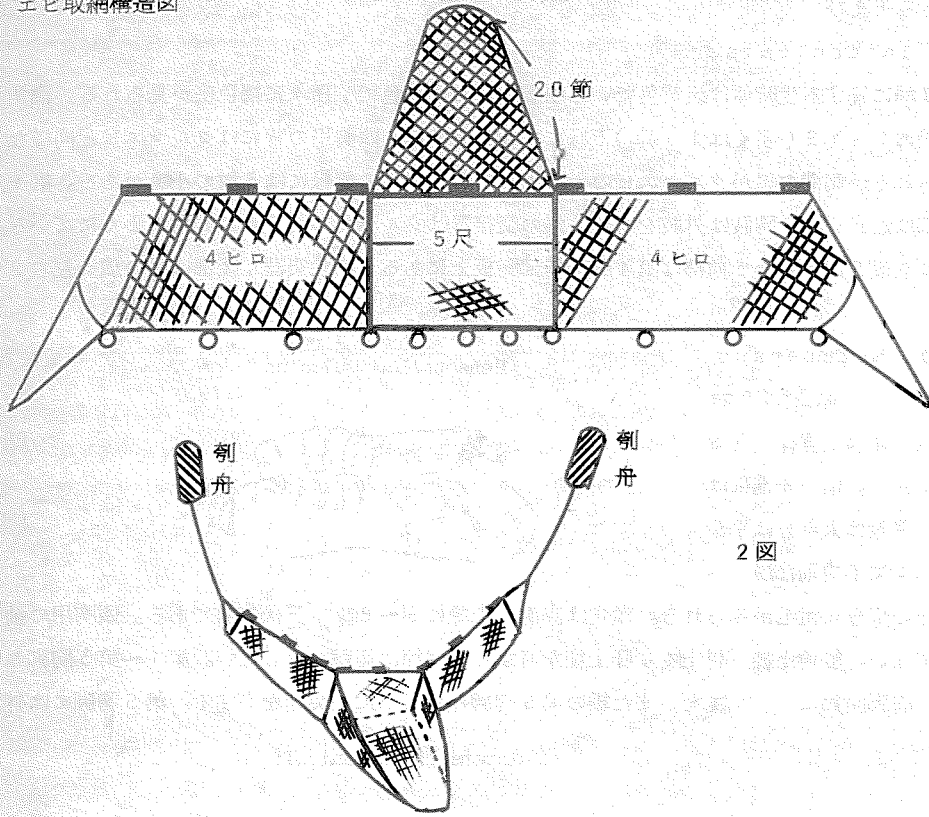
月	水温	比重
2	20.0	1.0250
4	21.8	1.0220
6	27.2	1.0225

エビ採捕地略図



1 図

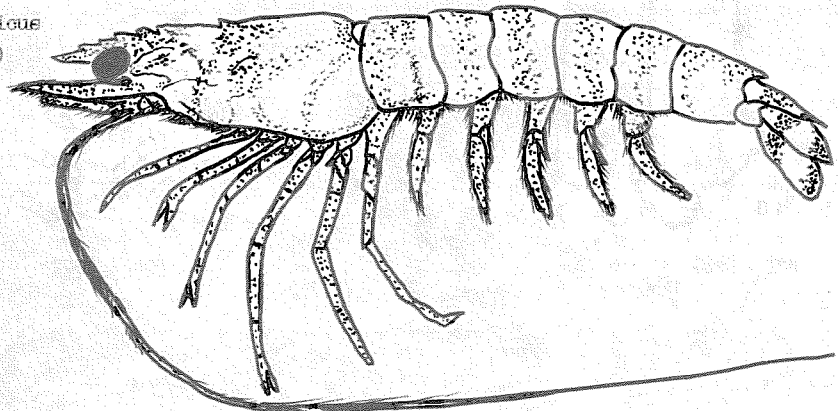
エビ取網構造図



2 図

(a) くるまえび *Penaeus japonicus* 体長は普通 200 mm 以下であるが、大きなものでは 250 mm に達するものがある。生時ふつうはうすい褐色あるいは青灰色の地に茶褐色あるいは青褐色の幅の広い縞模様が頭胸甲では斜めに縦に、腹部では横に走っている。甲殻はなめらか額角は水平で、上縁に 8~10 (多くは 9~10) 下縁に 1~2 (大多数は 1 棘) を有する。頭胸甲の背正中線及びその両側には各 1 条 (合計 3 条) の縦溝があり甲の後縁まで達している。尾節は背面に深い縦溝があり側縁に 3 対の小棘を有する。全胸肢は外肢を有する。雄の交接器は槌状で内葉の先端に 1 対の肉質突起を有する。雌の交接器は円筒状、交尾後の雌の交接器には蝶状白色の交尾栓がみられる。

Penaeus Japonicus
(クルマエビ)



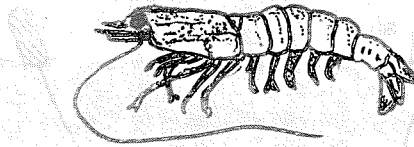
(b) ふとみぞえび

Penaeus latisulcatus

体長180mmに達する生時体は淡黄色でいわゆるしんちゆうり色で、所々に褐色斑が見られる。額角は水平、上縁に9~12(多くは10棘)下縁に1棘を有する。頭胸甲の背にはクルマエビと同様な3条線がみられるが側溝の幅がクルマエビのものより広い。尾節の側縁には3対の小棘がある。第1鰭角の鞭状部は短い。全胸肢は外肢をもつ、雄の交接器はクルマエビのそれに非常によく似ている。雌の交接器は前後2部からなり前部は第4胸脚基部胸板上にあるY字状突起器、後部は幅の広い左右2葉である。

(フトミゾエビ)

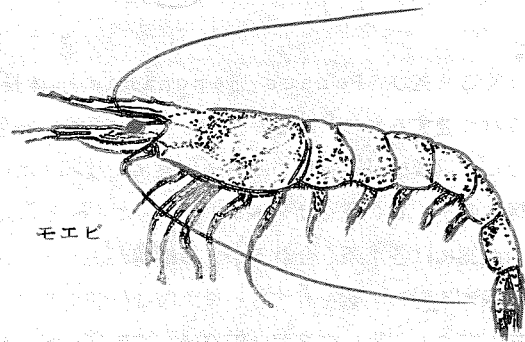
Penaeus latisulcatus



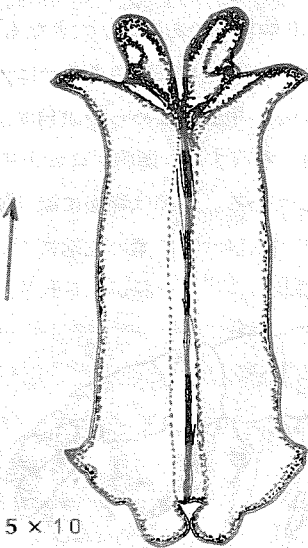
(c) もえび *Metapenaeus burkendoudi* 体長120mm

に達する。生時体は淡青緑色あるいは淡黄色である。尾肢先端部は緑色である。甲殻は大部分は平滑であるが、所々に不規則な浅いへこみがありその部分に粗毛がみられる。額角は真直で上縁に6~8棘、下縁無棘である。頭胸甲の前側角は棘状でない。触角上棘、胃上棘、肝上棘を有する。尾節は側棘を有しない。第1~第3胸脚の基部及び第1胸脚座節には各1棘を、また雄の第5胸脚には長節に1突起を有する。第5胸脚には外棘を欠く。

Metapenaeus burkendoudi



もえび



5 x 10

雄性交接器



もえび

雌性交接器